



43期生学年通信 No.40 ~2022.3.9 学年末テスト講評 号~

テストを終えて、先生たちからのメッセージ

学年テストが終わって2週間が経ちました。今回は教科も多く、範囲も広がったので、きちんと計画できていたかどうかで結果が大きく分かれたのではないのでしょうか。テスト振り返りも配布されていますが、「点数がよかった」「点数が下がってしまった」と、ただ単に点数についての反省だけではなく、「なぜ(どうして)よかった(下がった)のか」、テストに向けての準備が「なぜ(どうして)思ったように進んだ(進まなかった)のか」をしっかりと考え(分析して)、今回の取り組み&結果を、次回にいかしてください。

これで1年生の定期テストが終わりました。この1年間で、日頃の授業の受け方、家庭学習、テストに向けての意識や取り組みは変わりましたか? 「はい! ☺」の人はこれからもその意識を持ち、継続してやっていってください。「いいえ☹」の人は、2年生になるまでに気を引き締め、危機感を持って取り組んでいくようにしてください。

教科	講評
国語	<p>今回のテストは記述問題が多く、日ごろ記述が苦手と感じていた人がけっこういたため、心配でした。しかし、内容をしっかり理解して、書いていると感じる答案が多くなりました。もったいないのは、句読点の付け忘れです。悔しさは次の力につながります。2年生からは、気をつけていきましょう。</p> <p>漢字はずいぶんしっかり書けるようになってきました。しかし、漢字を覚えるのが苦手な人は、一字ずつ「大きく」「ゆっくり」書くことを意識しましょう。</p>
社会	<p>歴史の内容は、政治や権力の移り変わりから、様々な出来事があり、色々な人物がでてきます。テスト2週間前のポイントにこのような事を君たちに伝えました。</p> <p>『ノートの内容を教科書や資料集と合わせて理解しておくことが大切です。歴史の大まかな流れをつかみ、その時代の大きな出来事や中心人物を頭にいれて全体をつかんだうえで勉強していきましょう。自主学習は一度解くだけでなく、解説を読んで理解を深め、出来なかった問題やあやふやだった問題を再度解きなおすとより定着します。』</p> <p>テスト返却時によく耳にしますね。「あ〜、終わった。」むしろ、「きちんと反省を活かした勉強を始めていますか?」と聞いてみたいです。</p> <p>2年生では、前半地理、後半が歴史という1年生と同じような流れです。この1年間の経験を活かしてください。</p>

数学	<p>今回の範囲は『平面図形』『空間図形』と、図形がメインのテストでした。特に立体図形は頭の中で想像するのが難しく、空間上の直線や平面の関係がまだ理解できていない人もいます。苦手なものこそ、何度も何度も教科書を読んだり問題を解いたりして克服しなければなりません。図形の範囲の問題は実力テストや入試問題でも必ず出るので、今回求値問題(面積や体積を求める問題)ができなかった人は今のうちに克服しておきましょう。また、円周率が必要な問題で「π」を忘れてしまう人が多くいました。テストで「π」を書き忘れていた人のワークを見ると、ワークの段階で書き忘れていた人が多かったです。普段からもったいないミスをしないように、丁寧に問題を解く癖をつけましょう。</p>
理科	<p>今回のテスト範囲では次の点が章の目標でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な光に関する実験を通して、光が物質の境界面で反射、屈折するときの規則性、物体の位置と像の位置および像の大きさや向きを見いだす。 ・音に関する実験を通して、音はものが振動することによって生じ、波として空気中を伝わること、音の大きさや高さは音源の振動のしかたに関係することを見いだす。 ・力に関する実験を通して、物体に力がはたらくと物体が変形したり、動き始めたり、運動のようすが変化することを見だし、力は大きさと向きによって表されることを理解する。また、1つの物体にはたらく2力がつりあう条件を見だし、理解する。 <p>今回のテストを採点して、特徴的な四点をあげます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①光が水の中をどのように進むのかという問題の正答率が高い。 ②物体から出た光が凸レンズを通して進むときの光の道すじについてはよく理解できている。 ③モノコードの音の大きさや高さを変化させる方法の理解が不十分である。 ④教科書等に記載されているグラフをかく時の留意点をふまえて、ばねにはたらく力の大きさとばねの伸びに関するグラフを十分にかけていない。 <p>春休みの期間を活用し、みなさんにはもう一度、教科書を熟読し、基礎事項をしっかりと復習してほしいと願います。そして、ワーク等の演習に取り組み、理解をより深めてください。</p>
音楽	<p>今回は、全体的に解けていたように感じています。ただ、授業で説明しているところを、正確に覚えられずに落としてしまっている人もいました。Let's Search for Tomorrow の歌詞を問う問題、アルトリコーダーの指使いなどは、普段の授業で定着させていくと、筆記テストの時に解きやすくなります。これからも授業の毎時間を大切に、「聴いて」授業に取り組んでいきましょう。</p>

美術	<p>しっかり学習出来ていた人とそうでない人とで、はっきりと結果が分かれたテストになりました。減点の大半が誤字・脱字で、勿体ない減点が重なって数十点減点のようなケースが非常に多かったです。</p> <p>知識的な面で問題がほとんどなかった分、誤字での減点は非常にもったいないです。これはどの科目でも言える事なので、見直しはもちろんのこと、「理解して覚える」力を身につけてください。</p> <p>来年度も様々な課題制作を通じながら、満足できる結果が出せるようにしっかりと学習習慣を維持してください。</p>
技術	<p>金属とプラスチックの性質については、よく答えられていました。また、木材加工の実習についてもよく答えられていました。気になるのは、誤字で正解にならない場合が見受けられました。自分の作品についての問題は、よく解答できていました。</p> <p>4月からは、金属加工の『キーホルダー製作』と生物育成の『ミニトマトの栽培』を行います。これからも、理論と実践の両輪で技術の授業に取り組んでいって下さい。</p>
家庭科	<p>今回のテスト範囲は食生活のまとめということで、行事食や郷土料理、日本が抱える食に関する問題などでした。みなさんにとっては少し難しいテストになってしまったのかもしれませんが、今回の範囲の内容は、将来みなさんが社会に出たときにも知識として知っていて役に立つものばかりです。「何点だった～残念!」で終わるのではなく、しっかり振り返っておきましょう。</p>
英語	<p>筆記問題 1・2 は、教科書・まるごと暗記シートから出題したにもかかわらず正答率が低く残念。授業でやっておくよう伝えたことはきちんと実行しよう。放送問題は、日頃の「聞きたレ」が功を奏したか、よくできていました。ただ、不十分な解答がまだまだ散見されるので、どこまで答えたらよいかしっかり考えよう。</p> <p>初めての英文を聞いたり読んだりして、即座に理解できるようになるために、まずは単語力と文法力です。これから出会う大量の読解問題に対応できるよう、1年で習った単語・文法項目は、2年になるまでにしっかり復習し完璧にしておこう。いろいろな長文問題にもどんどん挑戦していこう。</p>